

架け橋

～広域紋別病院だより～



今年で最後となる院内保育所の運動会

目次

1. 表紙
2. 巻頭言(いよいよ病院移転まであと半年!)
3. 診療部から(産婦人科)
4. 医療技術部から(リハビリテーション係)
5. 看護部から(外来)
6. 健康レシピ(栄養指導係)・クイック検診のおしらせ
7. 新病院の建設工事の今(建設準備室)・職員の募集について
8. 病院行事報告・編集後記

病院理念

みなさんと心をひとつに、互いに尊敬と感謝の気持ちを共有し、笑顔の医療を提供します。

- ・常に、質の高い医療を安全・確実に提供します。
- ・生命、人としての尊厳を敬い、心のかよう医療を提供します。
- ・人材の育成に努め、働く喜びを共有できる環境づくりを進めます。

いよいよ病院移転まで あと半年！



事務部長 渡辺 幸彦

西紋別5市町村の皆さん、はじめまして。

私は、昨年4月より、北海道からの派遣職員として広域紋別病院で勤務しております。

早いもので、紋別に来てあっという間に1年半が過ぎました。

オホーツクでの勤務は、6年前に2年間過ごした北見以来2度目ですが、ここ紋別は、何より魚が豊富でみなどれもおいしく（マガレイ最高！）、気候も港町にしては海霧が少なく晴れた日が多いので、大いにエンジョイしております。

さて、昨年8月に始まった新病院の建設工事は、外壁等の工事を終え、現在は、来年4月中の開院を目指し、病院内部各室の工事が急ピッチで進められております。

これからの半年間は、周辺施設（バイオマスボイラー棟・駐車場等）や医師公宅の建設などのハード面の整備とともに、新病院が混乱なくスムーズに開院するためのソフト面の取組みを行う期間であり、極めて重要な期間になります。

具体的に申し上げますと、安心・安全で効率的な医療に寄与する電子カルテの導入やそれに伴う医師等医療従事者の操作訓練、新病院に対応した外来や入院規則等の見直し、現病院から新病院への入院患者の移送や医療機器等の移設準備などなどです。

当たり前のことですが、病院は患者さんの病気を治療するところであり、24時間・365日休むことなく常に稼働しているところです。

従いまして、病院の移転により、病院自体が一時休止になるということはありませんが、移転を支障なく円滑に行うためには、移転前の一時期はやむを得ず、入院患者や救急患者の受け入れ制限等を行うことも想定されます。

今後、紋別市や医師会等関係者と十分に協議を行い、極力、西紋地域の皆さまにご迷惑をかわからないように、周知するなど対処していく予定であります。

いずれにしましても、残り半年、病院職員が気持ちを一つに、力を合わせて新病院の開院準備に取り組んでまいりますので、よろしくお願いいたします。



診療部から

～産婦人科について～



産婦人科診療部長 佐藤正樹

私（佐藤）が当地に来てからはや1年、前任の山田医師と一緒にやっていたのが半年間、一人になり半年が経ちました。

時の経つのは早いな、と感じます。

今回は当科としてどういうことをやっているのか、どういう所までが出来る事なのかを紹介して行きたいと思います。

産科については、現時点ではリスクの少ない分娩のみを扱っております。

合併症を持った方や初産婦の方達に対しては申し訳ないのですが分娩をお断りしています。

地元で分娩したい方にはその期待に応えたいと思うのですが、母児ともに安全にという考えからの対処ですのでご理解頂ければと思います。

外来は月曜から金曜まで、午前午後と行っております。

基本は予約制ですが、妊娠初期の方や他院で健診を受けていても風邪引いちゃって薬欲しい、等予約外でも診る事は可能です。（お待たせする事もあり、出来れば事前に予約される事をお勧めします）

当院で産めないとお断りさせて頂いた方でも、ある時期までは（問題なければ）妊婦健診をすることは可能です。

婦人科は外来のみ行っております。

こちらも産科同様月曜から金曜まであります。

出来れば予約がお勧めですが普通に来て頂いても診る事が出来ると思います。

そして大変申し訳ない事に、手術や分娩以外の入院は基本的に受け付けておりません。

これは色々と事情があるのですが、今後鋭意検討していく所存でございます。

これらを、私と助産師、非常勤医師や小児科医と看護スタッフで一生懸命頑張っております。

ご迷惑かけることとは思いますが、これからも一日でも長く続けていけるよう精進していきます。

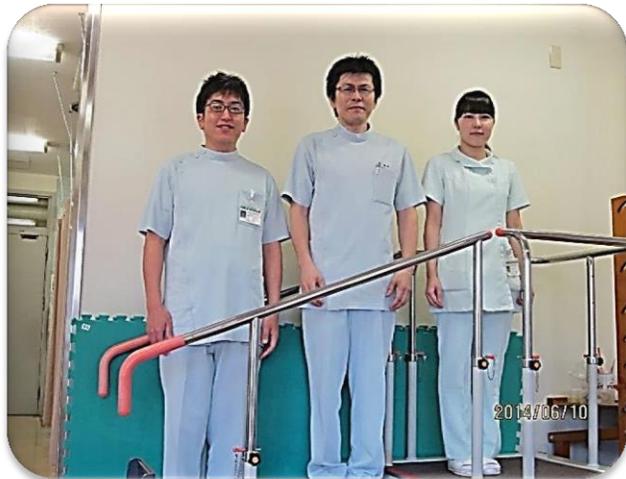


医療技術部から

《リハビリテーション係について》

リハビリテーション係は理学療法士2名、助手1名で構成されています。

親切、丁寧を心がけ個々の患者様に適したリハビリを目指しています。



《リハビリ治療の流れ》

患者様が診察を受け、医師の処方によりリハビリ開始になります。次に理学療法士が患者様と対面し評価を行います。評価とは、関節可動域、筋力、バランスなどの身体機能、そして起き上がり、立ち上がり、移乗動作、歩行などの身体能力面の検査や測定を指します。評価によって顕在化された種々の問題点に対し理学療法が行われます。

また週に一回病棟カンファレンスを行い、各職種のスタッフと情報、意見交換を行い患者様の治療の向上を目指しています。

《理学療法士とは》

理学療法士はPhysical Therapist (PT) とも呼ばれます。ケガや病気などで身体に障害のある人や障害の発症が予測される人に対して、基本動作能力（座る、立つ、歩くなど）の回復や維持、および障害の悪化の予防を目的に、運動療法や物理療法（温熱、電気等の物理的手段を治療目的に利用するもの）などを用いて、自立した日常生活が送れるよう支援する専門職です。治療や支援の内容については、理学療法士が対象者ひとりひとりについて医学的・社会的視点から身体能力や生活環境等を十分に評価し、それぞれの目標に向けて適切なプログラムを作成します。

《主なリハビリ内容》

温熱療法：ホットパック、渦流浴など

電気療法：低周波、超音波、極超短波

牽引療法：介達牽引器（頸、腰）

運動療法：ROM ex（関節可動域訓練）

筋力増強訓練

基本的な動作訓練（寝返り、立ち上がり、移乗動作など）歩行訓練、ADL（日常生活動作）訓練、福祉用具の貸し出し、使用指導退院後の生活指導など医学的リハビリテーションの専門職です。

治療や支援の内容については、理学療法士が対象者ひとりひとりについて医学的・社会的視点から身体能力や生活環境等を十分に評価し、それぞれの目標に向けて適切なプログラムを作成します。

理学療法士を一言でいうならば動作の専門家です。

寝返る、起き上がる、立ち上がる、歩くなどの日常生活を行う上で基本となる動作の改善を目指します。

関節可動域の拡大、筋力強化、麻痺の回復、痛みの軽減など運動機能に直接働きかける治療法から、動作練習、歩行練習などの能力向上を目指す治療法まで、動作改善に必要な技術を用いて、日常生活の自立を目指します。



看護部から

【外来について】

外来は、医師14名（出張医は除く）、看護師25名、看護助手2名、クラーク（整形、内科、眼科外来の受付窓口）3名、視能訓練士1名、計45名のスタッフが対応しています。

看護師は、外来診療と健診、各種検査介助や化学療法室、救急外来や手術室を担当しています。

その日によって担当する科が違うこともありますので、いろいろな科で、同じ看護師を見かけることがあると思います。

患者様からも「今日は〇〇科なんだね。あちこち大変だね。」と驚かれます。

確かに大変なこともあります。通院されている患者様を良くすることもできますし、各科の経験をふまえた対応をすることにもつながっており、安心して受診をしていただけるのではないかと考えております。



特に外来診療という限られた時間ですので、患者様の情報をいち早く知り、看護師間で連携していく上で、個々の看護師の気づきは大切です。

そのためには、”今日は顔色がいいみたい”呼吸が辛そう“何か伝えたいことがありそう”など、いつもと違う変化や、言葉にはならない思いも感じ取る努力を忘れず、スムーズに外来診療が行えるよう援助させていただいています。

外来は、毎日平均300名の患者様が来院されます。

定期的に通院される方、退院後の方、自宅療養されている方も多く、家族やヘルパーさんと来院されます。

また、救急車で運ばれるなど緊急性のある処置を必要とされる方など、年齢や来院される理由、経過も様々です。

診察を終えられ帰宅される方がほとんどですが、中には、他職種や病棟など調整を必要とする方も増え、看護師は相談者としての役割を果たすことも多くみられます。

そのような患者様と関わることで、学ばせていただくことも多く、やりがいを感じることでできる職場でもあります。

患者様からの「ありがとう」という言葉を支えに、患者様や家族の思いを尊重した対応ができるよう、今後も心掛けていきたいと思っております。

これからも、来院される方との繋がりを大切に、外来スタッフ一同笑顔で努めていきたいと思っております。



『ナースこぼなし』 その5

その人の心はちぎれそうだ
それでも静かに 微笑み
ふんわりした たたずまいで
病んだ人の隣に寄り添うだろう

その人の手はささくれている
それでも今頃 ハンドクリームで
だまし やわらかくした その手で
病んだ背中を いつまでも
やさしく さすっているだろう

夢見るナース 作

健康レシピ

～《栄養指導係》～



『ブロッコリーとゆで卵のオイマヨサラダ』

ブロッコリー

ブロッコリーは、イタリアが原産の野菜で、キャベツを改良して作られた野菜です。栄養満点で、生のブロッコリーに含まれるビタミンCはレモンの2倍!!

茹でた後でも多くのビタミンCが残っています。皮膚のシミやソバカスなどの色素沈着防止が期待できるため、美白づくりにはもってこいです。

また、風邪予防にも効果的で、皮膚や粘膜の抵抗力を高めるビタミンAが多く含まれているため、風邪などの細菌感染を予防してくれる働きがあります。



《材料／3～4人分》

- ブロッコリー 1房(約240g)
- ゆで卵 2個(約90g)
- ★マヨネーズ 大さじ2と1/2
- ★オイスターソース 大さじ1
- ★塩コショウ 適量

1人分 110kcal 塩分 0.96g ビタミンA 71.2μg ビタミンC 32.4mg

《作り方》

- 1 ブロッコリーは塩ゆで(分量外)し、水気を切って1口大に分けておく。
ゆで卵も1口大に切っておく。
- 2 ボウルに★の調味料を合わせ、ブロッコリーとゆで卵を入れて軽く和える。
混ぜすぎると具材が崩れてしまうので注意!
- 3 碗に盛ってできあがり。

ゆでた後は水につけず冷ますこと!!
水につけると、食べる時に水っぽくなってしまいます

クイック検診のお知らせ

受診の流れ 来院 → 受付・申込(前払) → 検査科(採血) → 帰宅

※ 実施時間 午前9時～12時 午後1時～4時

料金	検査内容
各500円	貧血+(肝機能、腎機能、脂質、糖質と検尿)の中から1つ 肺機能のみ 貧血検査のみ
1000円セット	貧血+(肝機能、腎機能、脂質、血糖と検尿)の中から2つ
1500円セット	貧血+(肝機能、腎機能、脂質、糖質と検尿)の中から3つ
2000円セット	貧血、肝機能、腎機能、脂質、血糖+検尿の全て
2500円セット	肺機能も含めた全て

新病院の建設工事の今

○現在の新病院建設工事の様子

10月現在、最上階の6階までの躯体工事が完了し、外壁のタイル張りや各階の内装工事が行われております。また、病院本体工事と同時に進められている駐車場の舗装工事や外灯の設置工事、木質バイオマスボイラー棟の新築工事は来年3月まで工事が行われます。



最上階までの躯体工事が完了しました



1階外来の待合の様子



3階デイルームも工事が行われております



病棟の間仕切り下地も組立中です

職員の募集について

広域紋別病院では看護師・助産師・薬剤師を随時募集しています。
募集要項の詳細は当院ホームページでご覧いただけるほか、紋別ハローワークでも求人票を掲載しています。電話でお問い合わせされる方は、下記連絡先までお問い合わせ

◎募集職種◎

- ①看護師 10名程度
- ②助産師 1名
- ③薬剤師 1名

※募集要項の詳細は病院ホームページなどをご覧いただくか、病院までお問い合わせください。

○お問い合わせ先

広域紋別病院 事務部 総務課 職員係

Tel : 0158-24-3111

病院ホームページ : <http://www.mombetsu-hospital.jp/>

病院行事報告

1. 「第8回市民公開講座」が開催されました。

平成26年9月25日(木) 18時30分～20時00分

①「胸が苦しい時は病院を受診しよう」

～虚血性心疾患(狭心症・心筋梗塞)を中心に解説します～

札幌医科大学「道民医療推進学講座」 特任助教 西田 絢一 先生



胸が苦しい時に疑うべき疾患について、緊急治療を要する虚血性心疾患について、詳細に説明をしていただき、会場に集まった165名のみなさんは真剣に聞き入っていました。



②「腹痛から手術まで」

札幌医科大学「道民医療推進学講座」 特任助教 植木 知身 先生



単に腹痛といっても原因は様々でちょっとした薬で良いものもあれば、緊急手術が必要なものもあります。手術はどのようなものがあり、またその未来像についても紹介していただきました



2. 「第9回市民公開講座」が開催されます。

開催日時 : 平成26年11月13日(木) 18時30分 開演

開催場所 : 紋別市文化会館 1階 多目的ホール

①「免疫異常についてのお話」

札幌医科大学「道民医療推進学講座」 特任助教 池田 博 先生

②「関節リウマチの外科的治療」

札幌医科大学「道民医療推進学講座」 特任准教授 金谷 耕平 先生

3. 当院院長に紋別市より感謝状をいただきました。

去る8月31日(日)に開催された紋別市市政60周年記念式典において、紋別市の救急医療等に長年の功績に対して広域紋別病院 及川郁雄 院長に紋別市長より感謝状が授与されました。



編集後記

現在は、新病院の外観もほぼ出来上がり、内装工事に入っています。

職員もそうですが、地域のみなさんも新病院の開院を心待ちにしていることと思います。

新病院開院に向け職員一同、無事に開院出来るよう移転準備のギアを数段アップして臨んでいます。

編集 : 広域紋別病院広報委員会

発行 : 広域紋別病院

〒094-8709

紋別市緑町5丁目6番8号

TEL・FAX 0158-24-3111

URL : <http://www.mombetsu->

[hospital.jp/](http://www.mombetsu-hospital.jp/)